
万一の際の計画停電実施時の 考え方について

四国電力送配電株式会社

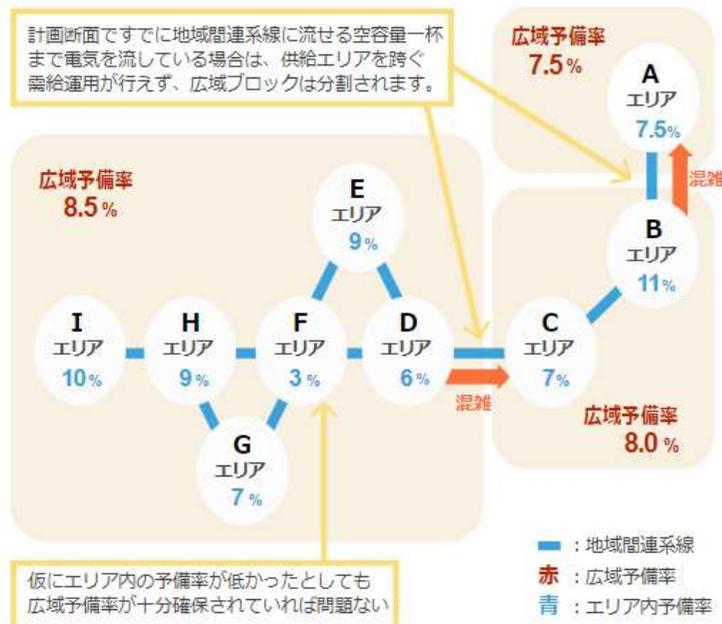
※2024年4月1日公表

1. はじめに

- 2023年10月31日に開催された国の電力・ガス基本政策小委員会において、計画停電の実施について、2024年度から広域予備率により判断される方針が示されました。これを受けて、電力広域的運営推進機関（以下、「広域機関」という。）と一般送配電事業者10社において、万一の事態に備えて、計画停電の運用方法等を改めて確認するとともに、検討を進めてまいりました。
- 計画停電は、国民生活や社会の経済活動に多大な影響を与えるため、不実施が原則です。しかしながら、震災、大規模な電源停止や発電所の燃料途絶等が発生した際に、需要と供給のバランスが保てない状況も考えられます。その場合、小売電気事業者は、自社の需要に応じた供給力の確保に努め、需要家への案内や節電要請を行います。一般送配電事業者は、エリア内の火力発電所の焚き増しや広域機関による他エリアからの融通指示などにより、電力需給バランスの回復を図るとともに、それでも厳しい需給状況の場合には、国をはじめ一般送配電事業者等による節電要請を行い、極力、計画停電を回避するように努めます。
- 全ての対策を講じてもなお、需給ひっ迫のある広域ブロック内の需給バランスが回復できない場合には、計画停電を実施いたします。
- 広域予備率に基づき、広域ブロック単位で実施する計画停電については、2024年度より運用が開始されることから、国、広域機関および一般送配電事業者が連携し、様々な機会を通じ、周知を図っていく必要があると考えており、今回、改めて概要等についてお知らせいたします。

2. 広域ブロック単位で計画停電を行う理由

- 日本における電力の供給エリアは北海道～沖縄まで10のエリアに分かれていますが、そのうち北海道～九州までの9つのエリアは地域間連系線でつながっています。また、東日本大震災での電力不足の経験などを踏まえ、電力が不足するエリアを応援するためにエリア間を結ぶ連系線の整備を進めています。
- こうした取り組みもあり、電気をつくる場所と電気をつかう場所は一つのエリアに留まることなく、連系線容量の範囲内で9つのエリアが一体となって電力の取引や運用を行っています。
- これを電力の広域的な運用と呼び、日常的な電力需給運用において、従前のようなエリア単位ではなく、連系線を最大限活用した広域ブロック※単位での予備率管理を行う仕組みとなっています。計画停電においても、電力が不足するエリアだけに負担が集中しないよう、複数エリアが一体となって助け合うために、広域予備率に基づき、広域ブロック単位で計画停電を実施することとなりました。

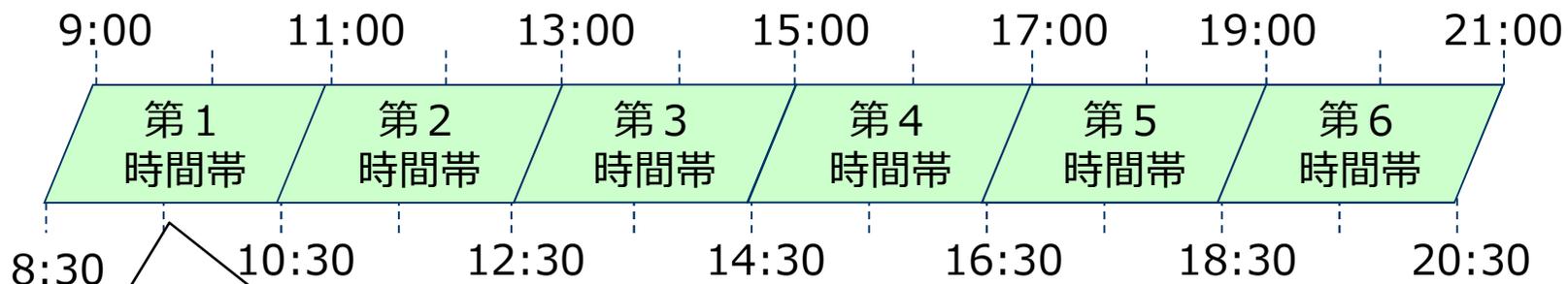


※9エリア（沖縄を除く一般送配電事業者）間で供給力を融通することで、需要に対する供給力の比率が均一となるエリアを指します。エリア間で供給力を融通しても、需要に対する供給力の比率が均一とならない場合、複数の広域ブロックが形成されます。

3. 計画停電実施時の時間帯

- 万が一の場合、時間帯毎に計画停電を実施させていただきます。
- 1日1回を原則とし、1回当たりの停電時間は2時間程度といたします。
- 具体的な計画停電の期間・時間帯は、実際に計画停電が必要になった場合にお知らせします。

【計画停電時間帯のイメージ（8時30分～21時に計画停電を実施する場合）】



【お客さま毎の停電イメージ：第1 時間帯】

お客さま毎の停電時間は2時間程度となります

	8:30	9:00	10:30	11:00	(停電時間)
お客さま④		■	■		(9:00～11:00)
お客さま③		■	■		(8:50～10:50)
お客さま②		■	■		(8:40～10:40)
お客さま①	■	■			(8:30～10:30)

4. グループ・サブグループの考え方

- 当社供給エリアを7つのグループに分け、時間帯毎に計画停電を実施させていただきます。
- 各停電エリア（グループ）の停電時間帯は、各グループ間で公平となるよう、毎日変更いたします。
- 停電必要量に応じたきめ細かな調整が可能となるよう、各グループを4つのサブグループに細分化いたします。

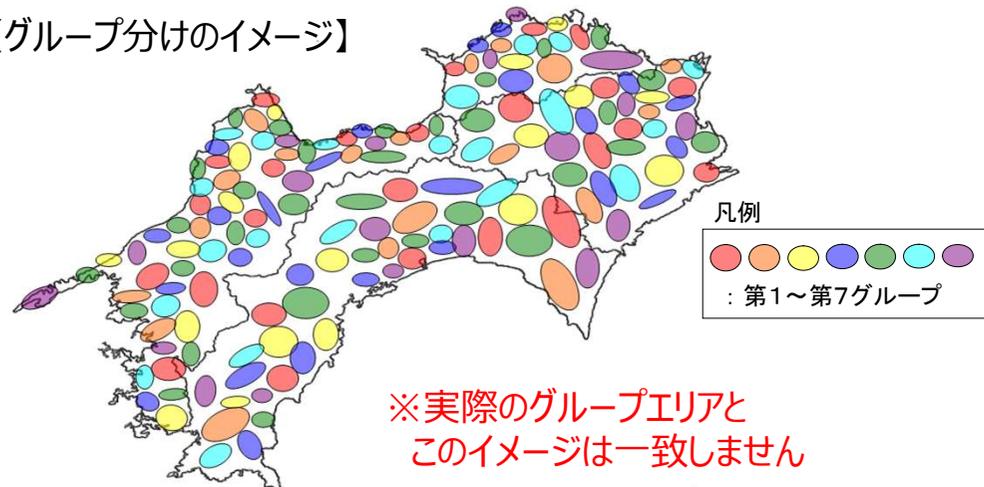
【グループのローテーションのイメージ（8時30分～21時に計画停電を実施する場合）】

	第1時間帯 8:30～11:00	第2時間帯 10:30～13:00	第3時間帯 12:30～15:00	第4時間帯 14:30～17:00	第5時間帯 16:30～19:00	第6時間帯 18:30～21:00
月曜日	第1グループ	第2グループ	第3グループ	第4グループ	第5グループ	第6グループ
火曜日	第7グループ	第1グループ	第2グループ	第3グループ	第4グループ	第5グループ
水曜日	第6グループ	第7グループ	第1グループ	第2グループ	第3グループ	第4グループ
木曜日	第5グループ	第6グループ	第7グループ	第1グループ	第2グループ	第3グループ
金曜日	第4グループ	第5グループ	第6グループ	第7グループ	第1グループ	第2グループ

各グループを4つのサブグループに細分化

1 - A
1 - B
1 - C
1 - D

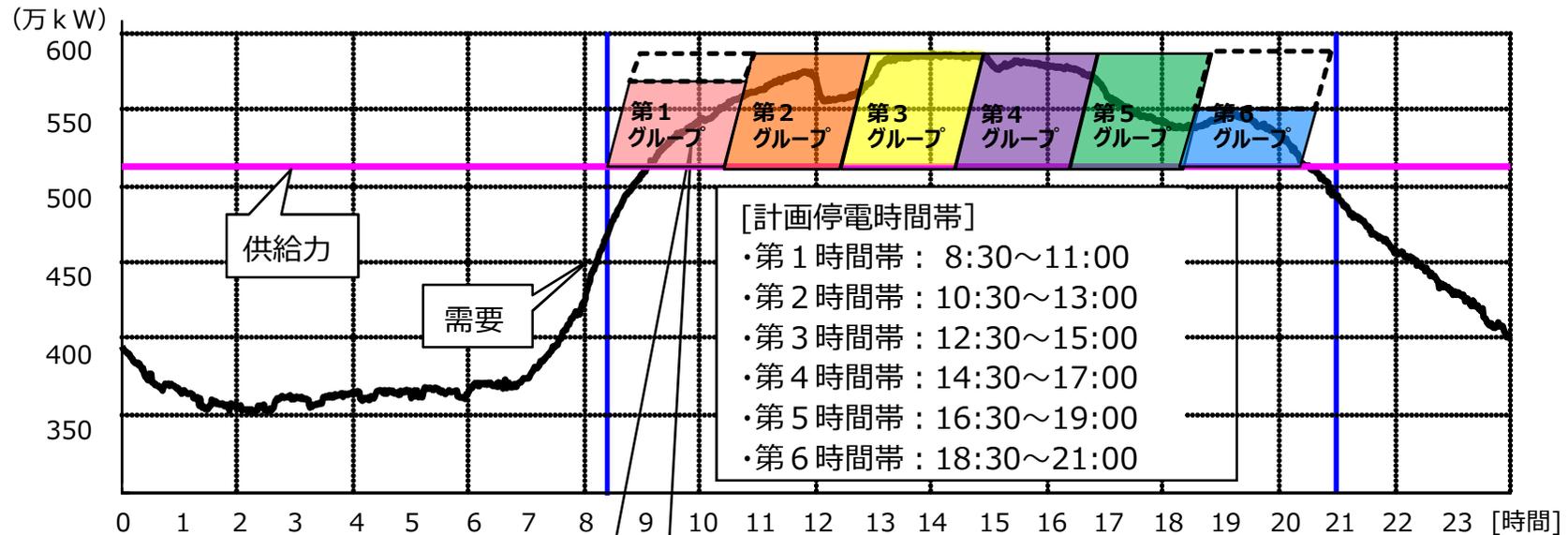
【グループ分けのイメージ】



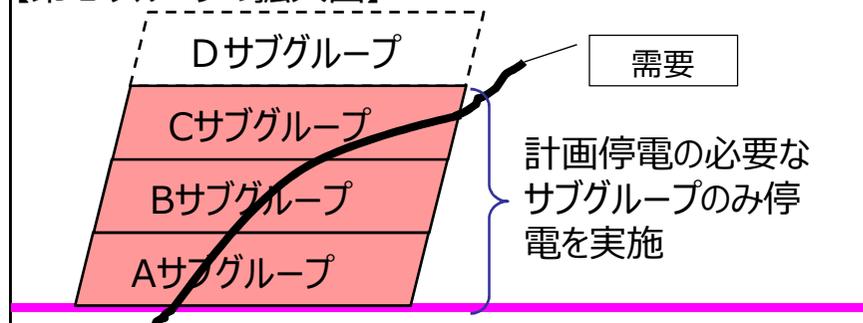
5. 計画停電実施時のグループ・サブグループの単位

- 時間帯毎の需給ギャップの大きさに応じて、計画停電をお願いするサブグループを設定します。
- 当日の需給バランスが大きく変動した場合には、サブグループを変更（追加・減少）する場合があります。

【計画停電の時間的推移のイメージ（8時30分～21時の間に計画停電を実施する場合）】



【第1グループの拡大図】



6. ロータシヨンの考え方

- 各サブグループ間でも公平性が保たれるよう、計画停電の実施状況に応じて、グループ内でのローテーションを行います。

【サブグループのローテーションの例（第1グループが1日目の第1時間帯となった場合）】

この例では、1 - Aから順に計画停電の対象となります。
1 日目8:30～11:00の時間帯で、2 サブグループ分の停電が必要になったとすると、1 - Aおよび1 - Bのお客さまが計画停電の対象となります。

	第1時間帯 8:30～11:00	第2時間帯 10:30～13:00	第3時間帯 12:30～15:00	第4時間帯 14:30～17:00	第5時間帯 16:30～19:00	第6時間帯 18:30～21:00
1 日目	1 - A 1 - B 1 - C 1 - D	第2グループ	第3グループ	第4グループ	第5グループ	第6グループ
2 日目	第7グループ	1 - C 1 - D 1 - A 1 - B	第2グループ	第3グループ	第4グループ	第5グループ
3 日目	第6グループ	第7グループ	1 - B 1 - C 1 - D 1 - A	第2グループ	第3グループ	第4グループ

計画停電の対象とならなかったサブグループは、次回に計画停電をお願いする順位が高くなります。

※ 万が一計画停電を実施する場合の時間帯やグループ・サブグループについては、計画停電グループ検索システムにてお知らせいたします。

7. 計画停電をお願いするお客さま

- 計画停電は、国の指針※に基づき、**原則、すべてのお客さまにお願いいたします。**
 - ただし、医療機関等の緊急かつ直接的に人命に関わる施設や、国の安全保障上極めて重要な施設、国や経済社会の基幹的機能を有する施設等については、計画停電をお願いいたしません。
(医療機関等に係る特例は、下記参照)
 - 計画停電の対応に必要な当社事業所については、計画停電を行いません。
- ※「セーフティネットとしての計画停電について」(2012.6.22電力需給に関する検討会合エネルギー・環境会議より)

【『セーフティネットとしての計画停電について』(3) 医療機関等に係る特例 抜粋】

- ① 変電所の運用改善等によって、以下の施設について停電による影響をできる限り緩和する。自家用発電機を保有する施設に関しては、できる限り自家用発電機での対応をお願いする。
 - ✓ 医療機関 (救命救急センター等の救急医療機関、周産期母子医療センター、災害拠点病院等)
 - ✓ 国の安全保障上極めて重要な施設
 - ✓ 国の主要な機関、道府県庁、道府県警察本部、消防本部等上記のほか、技術的に可能な範囲で鉄道・航空、金融システム等についても通電
- ② 特高需要家 (大規模な工場、研究機関等) は、技術的に可能な範囲で、大幅なピークカット等を条件に、一定程度の連続操業が可能な形での計画停電等を実施。
- ③ 被災地 (平成23年度台風12号被災地の一部施設等)、防災 (原子力発電所周辺30km圏内等) などへの配慮を行う。

8. 計画停電時の注意事項例

○ 停電前にご準備いただきたいこと

- ・ご自宅で医療を受けられるお客さまで、停電中の健康状態がご心配な方は、事前に医療機関などにご相談いただきますよう、お願いいたします。
- ・ラジオ、携帯電話などの通信機器の準備と充電の確認をお願いいたします。
- ・冷凍庫（冷蔵庫）の温度を維持するため、ドアの開閉を控えたり保冷剤などをご準備ください。
- ・水槽の魚などをイクスに分散していただくか、電池式エアポンプをご用意ください。
- ・パソコンなどのOA機器はデータを保存し、電源を切ってください。

○ 停電中にご注意いただきたいこと

- ・体調管理には十分ご注意ください。
- ・交差点を通行される際は十分ご注意ください。
- ・アイロンなど電熱器具はコンセントからプラグを抜いてください。
- ・ろうそくを使用される際には、火災に十分ご注意ください。
- ・室内で七輪や小型発電機などを使用しないでください。
- ・ガス漏れ警報器や換気扇などは作動しない場合があります。窓を開けるなど十分換気してください。
- ・モーターを使った電気製品はコンセントからプラグを抜いてください。
- ・停電予定の時間帯はエレベーターを利用しないでください。
- ・自動ドア、オートロックは作動しませんので、ご注意ください。
- ・防犯システムは作動しない場合がありますので、ご注意ください。
- ・夜間の外出の際は十分ご注意ください。
- ・分電盤のブレーカーを切ってから外出していただくより安全です。
- ・電気だけでなく、電話機、ガス、水道が使えなくなる可能性があります。飲料水の準備や汲み置きをお願いします。

○ 停電解消後にご注意いただきたいこと

- ・テレビやビデオなど、時刻表示やタイマー機能のある電気製品は、設定をご確認ください。
- ・電気給湯器はリモコンの現在時刻とエラー表示をご確認ください。

9. 計画停電グループ検索システム

- 計画停電のグループ・サブグループは、計画停電を実施する場合に公表いたします。
 - お客さまが所属するグループ・サブグループは、計画停電を実施する場合において当社HP上へ掲載する「計画停電グループ検索システム」でのご確認をお願いいたします。
 - 「計画停電グループ検索システム」でのご確認にあたっては、供給地点特定番号（22桁）※をご準備下さい。
 - 発災等による設備損壊状況によっては、検索可能になるまで時間がかかることや正確な情報が通知できない可能性があります。
- ※供給地点特定番号が不明な場合は、ご契約の小売電気事業者へお問い合わせください。

四国電力送配電ホームページ（計画停電グループ検索システムのイメージ）

計画停電のグループ検索

[取り扱い・免責事項・お問い合わせ](#)

●供給地点特定番号から検索 (半角数字22桁)

※供給地点特定番号は、電気のご使用場所ごとに付番している「08」から始まる22桁の番号です。お客さまに電気を販売している小売電気事業者から送付されている請求書等に記載されておりますので、ご確認の上、22桁をご入力ください。ご不明な場合は、ご契約の小売電気事業者または弊社コールセンターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

●住所から検索(注) 愛媛 香川 高知 徳島

(注)複数のグループが表示される場合があります。このような場合はお手数をおかけしますが、供給地点特定番号から検索していただきますようお願いいたします。

計画停電のグループ検索

[取り扱い・免責事項・お問い合わせ](#)

供給地点特定番号：08-1711-1490-1091-1530-0000

第4グループD です。

10月07日の計画停電の時間帯 (10月07日 12時更新)

時間帯 グループ	8:30 ～ 11:00	10:30 ～ 13:00	12:30 ～ 15:00	14:30 ～ 17:00	16:30 ～ 19:00	18:30 ～ 21:00
第1グループ					ABCD	
第2グループ					A	
第3グループ						A
第4グループ						
第5グループ						
第6グループ						
第7グループ						

※実際の停電時間は、各時間帯のうち2時間程度です。
※当日の需給バランスが大きく変更した場合には、サブグループを変更(追加・減少)する場合があります。

YONDEN T&D

10. 本件に関するお問い合わせ先

ネットワークコールセンター : 0120-410-805 (フリーダイヤル)

【電話受付時間】

月曜日～金曜日 8:40～17:20

※祝日、年末年始（12/29～1/3）は除く。